

2年続きの豪雪 雪下ろしの人手確保に四苦八苦

高齢者宅の見守り保安スタッフなどを緊急に要望

日本共産党議員団は2月25日、大雪の状況を踏まえて市長あての緊急申し入れを行い、要援護世帯の除雪費助成増額や高齢者宅などの日常的な見守りスタッフ制度の創設などを要望しました。申入書の内容は次の通りです。

市長あての大雪に関する緊急申し入れ(日本共産党議員団)

2022年2月25日

1. この間大雪で屋根の雪下ろし等の回数が増えていることを踏まえ、要援護世帯の除雪費助成を緊急に増額すること。
2. 要援護世帯や高齢者世帯に、新たな福祉灯油や除排雪支援の措置をとること。
3. 高齢者世帯、ひとり暮らし世帯は屋根の雪下ろし等が自力では困難であり、依頼するにもそのやり手が見つけにくくなっていることを踏まえ、各総合事務所内に相談窓口を設置し、市が直接雇用するなどして除雪人員を確保し、派遣できる態勢を取ること。その際、除雪人員は区内にこだわらず、全市内から積極的に確保すること。
4. 中山間地においては、日常的な降雪により出入り口が雪で塞がれるなど、常に災害状態になる危険性が現に存在する。これは、依頼した除雪業者等が作業に入るまでの間も命の危険にさらされることを示している。ついては、自力で除雪できない高齢者宅などを日常的に見回り、出入り口を確保するなどの作業を行う冬期の保安担当スタッフの配置を制度化すること。
5. 個人所有除雪機の燃料費の助成を行うこと。
6. 県災害救助条例が適用されても、要援護世帯の除雪費助成金額が変わらないなどの限界がある。災害救助法の適用を柔軟に行うよう、市として当局に強く働きかけ、市民生活を守る措置を講じること。
7. 災害救助条例を適用させた県は、屋根雪処理のマンパワー派遣、除雪重機の派遣等の要望に応える準備を整えていると聞かすが、同時に市からの要望がないと対応できないとも聞く。ついては、県に対して人員派遣、重機派遣を即刻要望し、必要な手立てを取れるようにすること。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.743 2022年3月6日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

望に応える準備を整えていると聞かすが、同時に市からの要望がないと対応できないとも聞く。ついては、県に対して人員派遣、重機派遣を即刻要望し、必要な手立てを取れるようにすること。

以上



車庫が雪の中に完全に埋没(板倉区)



市道から玄関までの道もこの通り(板倉区)



↑
集落内の道路は両側の壁の高さが3メートル以上にもなり、周りがまったく見えません。(中郷区)

2月下旬になってからの激しい降雪で、市内各地では県災害救助条例が適用される大雪災害に見舞われました。

日本共産党議員団は2月24日、中郷、板倉、安塚、大島の各区を訪れ、積雪の状況を視察し、行政への要望などを聞き取りました。

いずれの区でも、高齢化が進む中で、除雪の人手が不足し、頼むにも頼めない状況であることなどの訴えがありました。



かなりの高さがある鐘楼の屋根雪も地面の雪と連続(中郷区)



玄関も埋没寸前(板倉区)

PCR検査等実施件数 (2月25日現在)	
PCR検査実施件数	24,838件(前々週+1532)
陽性件数	1,144件(前々週+260)
抗原検査実施件数	12,223件(前々週+1594)
陽性件数	372件(前々週+171)
上越市内陽性件数	1,155件(前々週+364)